

国見九条の会ニュース 第8号

2021年4月25日 連絡先 ☎022-275-7493 (白砂) 〒981-0943 青葉区国見 6-15-3

九条の会東京連絡会より

高田健さん(九条の会事務局)の講演録です、ぜひご一読下さい

九条の会東京連絡会が今年2月10日に懇談会を開きました。その時に講演された高田健さん(九条の会などで活躍)の講演録が「生き生き憲法」という東京連絡会の会報に載り、そのコピーが国見九条の会にも来ましたので皆さんに読んで頂きたいと思い配布します。中身は憲法改正案を議論する憲法審査会のことと改憲手続法のことです。国民は憲法改正を望んでいないのに与党と一部野党は現在審議中の「改憲手続法の改正案」を早く採決しその後自民党などの改憲案を憲法審査会に提出し改憲案の国民的議論を起こすつもりでいます。大事な視点がこの講演録に込められていますのでご一読下さい。

【書籍紹介】井上ひさしの憲法指南

岩波現代文庫 小森陽一解説 1210円

2013年の特定秘密保護法、2014年の集団的自衛権行使容認の閣議決定以降、戦争する国づくりの法律が次々と強行可決されて来ました。またコロナ禍の中でこれまで蓄積されて来た貧困と格差(社会的弱者)の問題が噴き出しています。このような矛盾は社会を変える原動力にもなりますが、私たちは何を足場にして踏ん張ればいいのでしょうか。それは「日本国憲法」ではないかと私は思います。

3月12日に発売された『井上ひさしの憲法指南』を読んでみました。これは井上

ひさしが雑誌などに書いた憲法に関するエッセイと講演録から成っています。

「日本国憲法は世界史からの贈物であり、しかも最高の傑作だと信じています」と語る井上ひさし。日本国憲法がどのようにして誕生したのか、平和憲法の精神が日本国憲法に書き込まれたのはなぜかを世界史の中でやさしく、ふかく、おもしろく語っています。日本国憲法は決して押し付けられたものではない、とか日本がパリ不戦条約成立に力を尽くした、というところはなるほどと思いました。パリ不戦条約は日本がイギリス・フランス・ドイツ・イタリアとともに国際連盟の常任理事国だった時に「戦争という手段を使わずに平和的にいろいろな話し合いをして、もめごとを解決していく」という戦争放棄の条約で日本は世界の各国に説いて回り64カ国が批准し、南米は同じ内容の条約を結び、当時世界中のほとんどの国がそれぞれの国の建前としたのです。

(裏面につづく)



日本は戦争のない世界のため奮闘したのです。しかし日本はその後国際連盟を脱退しドイツ・イタリアも脱退し第二次世界大戦を引き起こして行きますが、日本に敗戦を受け入れさせ戦後の民主化を決めたポツダム宣言には「日本はかつてあった民主主義的傾向を復活せよ」とい

う一行があって、それはパリ不戦条約のため働いたかつての日本を思い起こせということだったそうです。この一冊で憲法が身近な存在になります。

国見九条の会 白砂英男

4月22日の憲法審査会開会強行への抗議、しんぶん赤旗4月23日の記事



許すな改憲手続き法

総がかり実委 衆院憲法審強行に抗議

改憲手続法の採決を
狙う自民、公明両党な
どが日本共産党や立憲
民主党の反対を押し切
って衆院憲法審査会の
開会を強行した22日、
総がかり行動実行委員
会は衆院議員面会所で
緊急の抗議行動を行い

憲法審査会開会に抗議
する(右から)本村衆院
議員と赤嶺衆院議員
22日、衆院議員面会所

ました。

審査会に出席した日
本共産党の赤嶺政賢、
本村伸子の両衆院議
員、立憲民主党の本多
平直衆院議員が国会情
勢を報告。

赤嶺氏は「与党は改
憲手続法の採決を求め
ているが、われわれは
正論でたたかって、国
民の世論を広げるため
に頑張りたい」と語り
ました。

総がかり行動実行委
の高田健共同代表は
「国民が改憲など望ん
でいないことは明らか
だ」と指摘。改憲手続
法改定案や改憲発議の
阻止へ、5月3日の「5
・3憲法大行動」を成功
させ、同6日の衆院憲
法審査会の傍聴など監
視の取り組みを強めよ
うと呼びかけました。

憲法会議の高橋信一
事務局長は「与党は改
憲手続法強行に続いて
改憲発議を狙ってい
る」と述べ、手続法採
決や改憲発議を許さな
い世論をさらに広げよ
うと訴えました。